

地域連携推進会議 議事録		管理者	サービス管理 責任者	記録
会議名	地域連携推進会議			
日時	令和7年11月12日(水)	13時00分～15時05分		
場所	アロハ男子寮1階食堂			
出席者	施設長 サービス管理責任者 世話人3名 公民館長 公民館婦人部長 いちき串木野市役所福祉課職員 当事者様 当事者様家族 計10名			
■会議内容 <p>会に先立ち、サービス管理責任者より地域連携推進会議の概要の説明を実施。加えて公表の必要があり議事録を作成するにあたり、個人情報の取り扱いに配慮することを申し合わせる。</p> <p>1. 開会の挨拶：アロハ施設長 地域連携推進会議開催の経緯と目的、本会をきっかけとした地域との連携強化について。 法人の取り組みへの理解や外壁工事の際の影響について謝辞</p> <p>2. 出席者紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ紹介 サービス管理責任者、世話人の紹介。「世話人」の名称の存在と施設内での役割についても説明。 ・出席者紹介 当事者様 → ご家族様 → いちき串木野市役所福祉課職員 → 公民館婦人部長 → 公民館長 ・出席者代表挨拶：公民館長 今回で二回目の参加となる。理解を深めて、同じ自治体で生活して行く者同士、共存共栄していきたい。 				

3. 会議

- ・施設見学・・・アロハ男子寮1階 → アロハ男子寮2階 → アロハ女子寮

築年数や過去に病棟や民家として利用されていた時期からの遷延の説明、掲示物の内容紹介、清潔保持のための取り組みについて解説。また個室や共同スペースにも入っていただき、実際の広さや利用の際に機能性等を体験していただく。共同生活援助の施設基準は個人の居室は7.43㎡。男子寮個室は11㎡、女子寮1階10.8㎡、2階8.1㎡を紹介。今回、当事者として参加して下さった当事者様が自室内の見学を買って出て下さり、構成員へ自室を案内。個室のみならず施設全体が清潔や整頓が保たれていることに感心されている。

- ・日常の様子を紹介・・・パンフレット等に加え各月の余暇活動の取り組みについて紹介。記載内容

以外にも、みなと病院と連携し週に1回定期的に看護師の体調観察を受けていることと地域の公共施設、機関の利用も自由にできることを紹介。

食事について質問受け、地域の弁当屋さんに配達を依頼しているが、施設として提携しているわけではなく、個人分を取りまとめる形で注文していることを説明。また休日は基本的に自炊を行い、量の過不足や偏りの防止の為に、食事提供ではなくスタッフとの調理活動をして食事内容や量への介入をしていることを説明する。

- ・経営状況の報告・・・令和6年度の会計報告書等を用いて紹介。

利潤追求ではなく、精神科病院から地域への復帰を目指す一連の過程で中間施設として意味ある施設であることを説明する。

- ・利用者様の権利擁護について

① 虐待・身体拘束・事故・ヒヤリハットについて

・世話人より：虐待権利擁護についてのアロハでの取り組みを紹介。身体拘束の無い現場であるが、その他の虐待の通報先の提示による連絡する権利の保障や、通信の自由について紹介。事故報告内容と件数、未然に防ぐための日々の取り組みや自己研鑽の為、精神科に限らず老年期や発達関連の研修参加、特に鹿児島県社会福祉協議会主催の権利擁護虐待防止研修へは毎年必ず参加し、施設内での周知徹底を図っていることも説明。ヒヤリハットについては、地域生活は生活範囲が多岐に渡りヒヤリハットの範囲が曖昧であるが、それ以上に支援のチャンスとしてとらえ学びの機会として支援の題材をしていることを説明する。

② ストレスチェックについて

- ・サービス管理責任者：法人としてのストレスチェックに加え、自施設内で年に2回行っているチェックリストの紹介。入所者様の安全を第一としながらも、昨今の社会的認識として職員のメンタルヘルスへの配慮も虐待を未然に防止するために重要であることを説明。

③ 衛生管理・感染防止について

- ・世話人より：食器や調理器具の消毒、冷蔵庫内の清潔保持や食材の期限の確認、施設内の大掃除など自施設内での取り組みを紹介。衛生管理、感染症及びまん延防止についての掲示物や日々の除菌作業、伊集院保健所からの通達内容の回覧と内容に則した助言、掲示物を用いた周知徹底を行っていることを説明。

④ 苦情対応・意見箱について

- ・施設長より：アロハ内のご意見箱の役割や過去の投書内容の紹介。投書には至らないが現場職員が日常的に受ける相談内容についても数例紹介する。

⑤ 防災(火災・地震)・体調急変時・トラブル対策について

- ・世話人より：アロハでのセコムや消防署との連携について取り組みを紹介。火災通報装置や受診盤は施設管理係と提携業者、消防署が連携し必要時(交換時や定期の立ち入り)に点検や訓練を実施していることを説明。体調急変時には夜間電話連絡者がいることを紹介し対応の内容を解説。施設内外のトラブルが現在発生または報告がないが夜間緊急連絡網と専用の携帯電話でスタッフが待機していることを紹介。

・BCPについて

- ・施設長より：厚生労働省からの通達内容についてアロハBCP(災害時)を用いて説明
策定後も、「夜間22:00までに震度4以上の地震が発生した場合は、各寮の担当者が電話連絡し、精神的動揺や家屋の状況を確認すること」等改正もあり、一度策定し完成ではなく見直しと訓練を繰り返していることも報告。また居室の飛散防止フィルムや、共同スペースの家具の転倒防止対策などを施工し日常的に設備点検を行っていることを紹介。最後に、自施設にて備蓄している災害用非常食やポリタンク等生活用水確保の為に準備を紹介し、連携しているみなと病院とも備蓄を共有している旨を報告する。

・個別対応

・施設長、公民館長、婦人部長、福祉課職員

みなと病院の見学も兼ね、避難経路の確認と災害時の地域の避難先としての提案

婦人部長より、近隣住民としてはみなと病院を避難先とさせていただけることは大変ありがたいとのご意見があり、地域住民の不安を軽減させ高齢化が進む地域での地域課題に対して役割を担っていることが分かった。

・当事者様、ご家族様、アロハ職員

支援内容の報告と支援の希望など意見交換を行う。当事者様とご家族様は利用契約更新時期でもあり、本人、ご家族の負担に考慮し利用契約更新手続きも日常の様子や施設利用のルールを互いに確認しながら実施。

・まとめ

・各構成員からの感想・質問・要望

公民館長 : 昨今の虐待のニュース等で見聞きするような施設は一握りであり偏った情報でもある。ここ（アロハ）とは異種であることが分かった。今後も同じ地域で生活する者同士、理解し合い協力し合っていきたい。

公民館婦人部長： 自宅が近所であり皆さんとも声を掛け合う機会がある。今後も良いお付き合いをしていきたい。

市役所福祉課職員： 行政としては、市民へ施設を紹介する立場。施設内の構造や支援の内容を知ることができ良い機会でした。

ご家族様 : 特に意見はありませんが、スタッフさんに良くしていただき、本人は元気になりました。これからもよろしく願います。

4. 閉会の挨拶

地域の目があることで閉塞的な特徴を持つ福祉施設が孤立せず、また虐待を未然に防ぎ、健全な施設運営を続けられること、本会をきっかけとして今後も地域と施設が互いに理解を深めあっていききたいことを構成員としてご参加いただいた皆様に対し再度ご説明し感謝を伝え終了となる。

また、ご参加いただいた構成員の皆様に対し、アロハ利用中の利用者様が就労支援施設で販売されているお菓子をお土産に準備させていただき、障害者就労についても簡単に紹介をいただいた。

会議上程議案（決定事項）

① 会の報告方法について

【内容】HP 内で PDF での公表を予定

■その他：来年度以降は地域の関係者として祇園町以外の公民館長や保育園園長などを検討